



# くれたけだより

春号



## 困難な時代の中で

呉竹会 会長 牛込 信喜



会長就任から一年が過ぎようとしております。理事長をはじめ、学校関係者・呉竹会の皆様方には、たいへんお世話になりました。今のコロナ禍の中では、理事会・呉竹総会・呉竹医学会・呉竹祭、並びに、卒業式・入学式などの機会に皆様にお会いできず、とても寂しく感じた一年でした。

世界のコロナウイルス感染者は四億三千万人、死者数は五百九十万人に達したそうです。ちなみに、アメリカ合衆国のコロナウイルス感染症による死者数は、約九十四万人（百万人に届きそうな勢いです）。第二次世界大戦時のアメリカ将兵

## 職業実践専門課程と同窓会

東京医療専門学校 校長 齊藤 秀樹



爽やかな五月風が吹く季節となりましたが、コロナはいまだ終息しておりません。卒業生の皆様におかれましてはこのコロナ禍にあっても一層ご活躍のことと存じます。

東京医療専門学校は近況をご報告させていただきます。

I 令和三年度の卒業式では教員養成科、本科、専科、柔道整復科併せて百六十七名の卒業生が巣立っていきました。昨年同様新型コロナウイルス感染症の観点から牛込呉竹会会長、ご来賓およびご家族の皆様は式に参加できず、卒業生と教員のみで卒業式となりました。また恒例の卒業パーティーも開くことができず少し寂しい卒業式になりました。卒業生は入学直後から

卒業式式辞では医療系国家資格を持つ者は卒業後も自己研鑽を生徒続けることが義務と責務であると話をさせてもらいました。また鍼灸施術、柔道整復術は医療であり、医療は国民のためにあり、国民が期待する知識と技術の取得に努めてもらいたいという思いもお伝えいたしました。学校として卒業生には卒後臨床講座を充実させ生涯学習

死者数は、約四千万五千人でした。倍以上の方が亡くなられたこととなります。

ここ二年あまり、私たちの社会は、新型コロナウイルスにより、いろいろと行動制限などの多大なる影響を受けてきました。飲食業界が非常に苦しいとニュースなどで騒がれておりませんが、私たちの業界もかなりの影響を受けていると聞き及んでおります。皆様方の院は、いかがでしょうか？

幸いなことに日本では、順調に三回目のワクチン接種が進み、なおかつ四回目のブース

ター接種についても、検討が始まっており。また、経口薬による感染初期の対処薬も複数認可されましたので、いよいよコロナウイルスと共存の時期に差し掛かっていると思います。我々の施術は、自己免疫の強化を促進させることが世界的に認められ、後進国では、コロナ禍で院数が増えているそうです。私たちが積極的に、患者様に対して、自信を持って施術を執り行い、ワクチン+自己免疫でコロナウイルスに対処していきましょう。

更に、この二年あまりのコロナ

II 四月一日の入学式は新型コロナウイルス感染症の観点から呉竹三校別々の開催となり、東京医療専門学校は朝日ホールで入学生と教職員のみで開催いたしました。今年度は教員養成科、本科、専科、柔道整復科併せて百七十名が入学されました。柔道整復科の夜間部の募集を停止したこともあり入学者が減少しましたが、今後もなお一層学校の魅力を伝える広報活動に尽力し活気ある学校にしていきたいと思います。

III 四谷校舎の新築工事が進められておりますが、本館は新校舎に建て替えるための解体作業が終わり、三月に地鎮祭が行われました。新館完成まで呉竹祭をするためのスペースが確保できず開催することができません。卒業生と在校生が懇談する機会である学園祭が早く開催されることを望んでおります。

IV 鍼灸マッサージ科の専任教員の渡邊茂隆先生が横浜校へ、平井顯徳先生が大宮校にそれぞれ異動されました。また横浜校より永吉浩文先生が東京校に異動されてきました。鍼灸マッサージ科の専任教員の中田智之先生、松峰理真先生が退職されました。柔道整復科には高橋光生先生が新たに専任教員として入職されております。

V 本校の特徴は卒前から卒業まで一貫した臨床教育であり、患者ニーズの高い分野で即戦力となる人材育成を育成し、就職先の採用決定までを支援するアドバンス講座を開講しています。卒業生の山田晃広先生に「スーパートレーナーコース」の講師をお願いし、受講生がプロトレーナーとして就職が決まり成果が実ってました。昨年度は「スーパートレーナーコース」に加え、美容・女性領域のアドバンス講座として「美容と健康」を開講いたしました。今後卒業生にご協力いただきアドバンス講座を発展させてまいります。

ナ禍で、特に高齢者は感染を気にして外出自粛、ステイホームに徹した方が多く、体の機能の低下が診られます。よって、健康寿命の低下が考えられますので、我々は積極的に施術で、筋力及び体力回復のお手伝いをし、社会貢献してまいります。

コロナウイルス流行の第七波が予測されていますが、皆様、健康にはくれぐれも留意して、活躍されますことを、心よりご祈念いたします。

VI 本校は、文部科学省より「専門学校」より上のランクの「職業実践専門課程」の認可を受けております。職業実践専門課程は社会（業団）が求めている人材を育成している学校に与えられるものであり、学校教育において業団と密接な連携が求められています。目的意識をしっかりと持った人材を確保するために①治療院から入学希望者を推薦いただき、②在学中は外部臨床実習先として治療院と学校が一緒になり人材を育成。さらに③出口として卒業後、就職先となるような仕組み（三層連携）作りをしております。今後とも学校運営にご協力をよろしくお願い申し上げます。

新任教員あいさつ

入職にあたり

高橋 光生

本年四月より、東京医療専門学校代々木校舎の柔道整復科専任教員として入職致しました高橋光生と申します。出身地は青森県八戸市。地元高校を卒業後仙台の大学に進学、その後仙台接骨医療専門学校柔道整復学科で柔整師の免許を取得するに至りました。中学の頃から柔道を始め、全く強くないものの下手の横好きで現在まで続き昨年には四段をいただくことができました。一日でも早く新型コロナウイルスが収束に向かい、気兼ねなく稽古ができる日を心待ちにしております。

専門学校を卒業した後は上京し東京の整骨院グループに就職、整骨院勤務を基本としながら院長業務、保険請求業務、社内勉強会の企画運営・講師、トレーナー活動、スポーツ大会・ダンスイベントの救護活動、スキー場併設の接骨院での勤務と様々な経験を積ませていただきました。

中でもスキー場併設の接骨院勤務では都内の接骨院ではめったに経験することのできない骨折、脱臼を中心とした重症度の高い新鮮外傷の対応を学ぶ貴重な三カ月となりました。また、パトリール隊と協力して救急搬送の対応などをしていただくことのできる救護活動でも生かすことができました。

VII 昨今の接骨院には外傷の患者様は多くないと言われておりますが、私が院長として勤務していた接骨院はスポーツ施設内ということもありスポーツ外傷、スポーツ障害の患者様が多く来院していただきました。やはり柔道整復師として外傷は切っても切り離せないものであり、今後もその伝統を守りたいと思いい教育現場を志すことになりました。ご縁をいただき長い歴史のある呉竹学園東京医療専門学校で勤務できることがとてもうれしく、また身の引き締まる思いであります。

学生の最大の目標はもちろん国家試験合格ではありますが、その先の輝かしい未来をイメージして勉学に取り組めるようサポートしつつ、自らも常に成長していけるよう尽力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

深淵なる伝統医学の学び

千葉 規勝

東京医療専門学校 非常勤教員として着任いたしました。電機メーカーでの開発・設計業務から様々なご縁を経て、東京医療専門学校に入学し、鍼灸マッサージの道へと進みました。科学技術の進歩は著しく、人体の構造や機能の解明も進んでいます。それでもなお、長い歴史を経て確立されてきた伝統医学の深淵さは驚嘆に値しますし、その最奥部をのぞける日はいつになるのだろうかとも思います。国民のQOL向上や社会問題

解決などに対して大きな可能性を持つ伝統医学について、鍼灸マッサージの教員として皆様の学習や今後の進路に関われることに大きな喜びと誇りを感じております。少しでも教育の質が上がるよう努めたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

卒後研修の大切さ

早川加奈子

附属施設所の非常勤職員として令和元年より勤務をしております。私は、東京医療専門学校を卒業した後、附属施設所で研修生として研修を受けておりました。今は私が研修生の研修に携わることになり、改めて臨床の難しさについて考えている毎日です。

入学した頃のただ漠然とした「鍼灸マッサージで施術をする」という思いだけではなく、医療従事者として相手に真摯に向き合い貢献するための知識や鑑別能力、そして判断力を身につけることも臨床では大切なのだと考えています。施設所での業務を通じて研さんを積み、いろいろな方へ貢献していければと思っておりますので、どうぞご指導の程よろしくお祈り致します。

国民のQOL向上や社会問題

発行所  
呉竹会  
〒160-0008  
東京都新宿区四谷三栄町16-12  
東京医療専門学校内  
TEL 03-3341-4043  
https://www.kuretake.ac.jp



臨床実習・研修の充実を目指して

吉田 達望



この度、東京医療専門学校 校鍼灸科附属 施術所の非常勤職員として従事することになりました吉田達望と申します。私は本校を卒業後、研修生になり国家試験に向けて勉強した知識を整理し、実践に生かす

退任職員あいさつ

呉竹学園東京医療 専門学校と私

横瀬 稔

東京医療専門学校（四谷校舎）+代々木校舎）と呉竹鍼灸柔整専門学校（新横浜）と呉竹医療専門学校（大宮）を有し創立百年を迎えようとする、歴史ある呉竹学園事務職として一九八六年から呉竹学園を見てきた私の思い出が、卒業生の皆様方の記憶と共有することができれば幸いです。

私は、一九八六年、伝統ある東洋医学の学校に歯科衛生士科が新設され、校名が東京鍼灸柔整専門学校から東京医療専門学校へと変革を遂げた年に入職しました。

当時の四谷校舎は、一号館（歯科衛生士科）・二号館（二階建てプレハブ教室）・本館（教室・柔道場・図書館・真新しいトイレ・国際部等）・五号館（事務室・教室・学園本部）と附属施術所（臨床研究所）でした。

現在これらの建物は取り壊され、前の建物の姿は記憶の中だけとなってしまいました。代々木校舎は今も校舎として使用中です（五階の講堂は教室に変わっています）。

ということを学びました。これが簡単なようで非常に難しいですが、国家資格者として責任をもつて患者さんと向き合っていく際にはとても大切なことだと思えますので、学生の皆様にもお伝えしていければと思います。施術所専任職員として、臨床実習や卒業後研修の充実を目指してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

卒業証書の大きさも、A3サイズで卒業生のお名前を事務の大先輩が一人一人手書きされた証書から、A4サイズの証書に変わっています。

卒業証書の大きさも、A3サイズで卒業生のお名前を事務の大先輩が一人一人手書きされた証書から、A4サイズの証書に変わっています。

卒業・入学式が行われた会場は卒業年度によって違いますから、ご自身はこの会場であったか思い出してみてください。まずは、市ヶ谷にある「アルカディア市ヶ谷（私学会館）」で春と秋？（当時鍼灸科の修業年限は二・五年でした）に行われていたが、入学定員数の変更に伴いアルカディア市ヶ谷が手狭になり、千駄ヶ谷にある津田塾会「津田ホール」に移りました。しばらくして日比谷にある「イノホール」が卒業式会場となりましたが、イノホール建て替えに伴い今の有楽町「朝日ホール」に移っています。

私がやってきた事務仕事も格段に変わり、当時、書類（試験問題・授業の資料など）は手書きで計算は電卓（引き出しの中にそろばん）を使う時代で、官公庁提出書類などは和文タイプライターで作成する時代でした。今では一人一人の教職員の机にコンピューターが置かれて

います。学校業務の多くがコンピュータなしで成り立たない時代を経て、コンピュータはワープロ・表計算からインターネット・メールが加わり、国内ばかりか世界中と瞬時に繋がることを可能にした情報ツールにまで進化し、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い学校の授業がオンラインで行われるまでになるなど、私が小学生の頃読んでいた漫画で見た「未来」の生活が現実となるさまを肌で感じた次第です。

また、中国上海の上海中医药大学短期留学を担当した当時、渡航前にFAXを送りスケジュール調整し、よほどの事がない限り学校と連絡することはなく短期留学に参加された学生たちを無事に帰国させることが仕事であった状況から、今では渡航前のスケジュール調整は上海中医药大学の先生方と頻りにメールで行い、日本の学校との連絡も何か事が起こればすぐに携帯電話（国際電話）で連絡することが出来る時代です。本場にすい時代の中で仕事をさせてもらいました。

東京医療専門学校で仕事を始めた三十五年前から今日まで多くの出来事に携わり、今回退職にあたり記憶の引き出しを開けて書き始めてはみたものの、記憶違いもありそんな文章になっています。これをお読みになっている呉竹会の会員の皆様、記憶違いを正していただける方は、まだまだ元気だと自信を持ってください。

また、三十五年前の記憶を頼りに事細かに書き記して文章にすれば「くれたけだより」ページくらいになるだろうと思っていました。いざ書き始めてみるとあまりの記憶の曖昧さで無理だと悟り、この程度の文章に落ち着いてしまいました。たいへんお恥ずかしい限りです。



呉竹会の会員の皆様、これからも変革を続ける呉竹学園東京医療専門学校の変遷を楽しみに期待してください。よろしくお願いたします。

スーパートレーナーコース 活動報告



スーパートレーナーコースはスポーツトレーナーを目指す学生や競技者へのケアを修得した



い学生を対象に、様々な競技の第一線でサポートを行ってきたトレーナーの方から直接指導を受けられる課外講座です。

を経営する本校の卒業生。また、本学園の卒業生も講師としてご登壇いただいております。本講座最大の魅力は、講座内での学びに加え、インターン活動や就職斡旋を通してキャリア支援にも取り組んでいる点です。二〇一九年度に発足したスーパートレーナーコースも今年で四年目を迎え、プロスポーツ現場で活躍するトレーナーも輩出しております。

Table with 5 columns: No., 2022年度開催日(予定), 講師, 講師経歴, 競技. It lists 8 courses with dates, instructors, and their backgrounds.



東京医療専門学校

# 令和3年度卒業式挙行される

## 齊藤校長「多職種連携を意識して」

令和3年度 東京医療専門学校 卒業式



令和四年三月十七日、有楽町朝日ホールにて、令和三年度東京医療専門学校卒業式が執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き来賓や保護者を招かず、規模を縮小しての開催となりました。

令和三年度の卒業生は教員養成科二十四名、鍼灸マツサイジ科五十八名、鍼灸科三十六名、柔道整復科四十九名の計百六十七名。式では、卒業生一人ひとりの名前が担任教員により読み上げられ、各科の卒業生代表が登壇し、卒業証書が授与されました。

続く学校長式辞では齊藤秀樹校長が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面授業や学外臨床実習、解剖見学が通常のように提供できなかったことを詫びながら、自身が企画した朝の補習もコロナ禍のため中断を余儀なくされ、悔しい思いをしたと振り返りました。

また、齊藤校長は「医療系国家資格を持つ者は生涯にわたり自己研鑽を続ける義務と責任があること」「介護、スポーツ、災害などの各分野で多職種連携を意識すること」の重要性を伝えました。多職種連携については、卒業式前日に発生した最大震度6強の地震のことに触れつつ、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨の際に本校教員に対してAMDA (The Association of Medical Doctors of Asia) などから救助活動参加の緊急要請があったと改めて報告。「災害の現場に駆け付けるには、多職種連携の講習会を受け、そのなかで鍼灸師、柔道整復師として認めてもらい、多職種の仕事を理解し、講習会から認定を受ける必要がある」と説かれました。学校長式辞のあとは学園賞、呉竹医学奨励賞、団体褒章の授与が行われました。送辞は在校生

生を代表して小川修平さん、答辞は卒業生を代表して高橋梨恵さんが務めました。高橋さんは学生生活の印象的なシーンとして友人の骨折整備をサポートした経験や、友人の骨折整備を「軽快していい友人の姿を見てうれしくて仕方がなかった。このためにこの職業を目指したんだなあ」と語りました。

なお、令和三年度の学園賞は千葉規勝さん、古屋誠治さんが



高取真也さん、村上直生さんが受賞しました。

### 卒業生の声

#### 令和3年度 柔道整復科卒業

柏木 彩乃

私はこの春、本校の柔道整復科を卒業し鍼灸科に学内進学しました。現在はアルバイトをしながら鍼灸師国家試験に向けて勉強しています。

私が治療家を目指そうと思っただきかには、中学生から高校生まで度重なるけがで、スポーツが長期間できないことがありました。その時にリハビリを担当してくださった理学療法士の先生から、柔道整復師というスポーツ現場で活躍する資格を紹介していただいたことです。また、自身のけがを経験したこと

で、慣れない勉強をやり切ることができたと思います。勉強面以外でも進路、私生活での相談も親身になって聞いてくださいました。そのおかげで三年間過ごすことができました。

最後に新型コロナウイルスの影響で、思い描いた学生生活を送ることは困難な時期が続くと思います。ですが、その裏には私たちのために環境整備をしてくださったたくさんの方々の、事務の方々がいます。このような状況下だからこそ、身に沁みてそのことを実感しました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

入学当初は、勉強量の多さ、慣れない医療用語に不安で一杯になりました。ですが、先生方



逃げてしまいたい時は迷わず先生たちに相談してみてください。勉強仲間をください。お互い高め合うことも良いと思います。

まずは治療家としての幅を広げるために、三年後の鍼灸師国家試験に向けて勉強を頑張りま



# 令和4年度 東京医療専門学校 入学式

## コロナ禍での縮小開催 3回目

令和四年四月一日、有楽町朝日ホールにて、令和四年度東京医療専門学校入学式が執り行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓や保護者を招かず、検温と消毒を徹底しての開催は令和二年度入

学式以来、三度目となります。式は「君が代」清聴から始まり、続いて新入生計百七十名（教員養成科二十八名、鍼灸マツサージ科六十名、鍼灸科五十四名、柔道整復科二十八名）の名前が担任教員により読み上げら

れました。学校長式辞では齊藤秀樹校長が、東京医療専門学校は二〇二六年十月に創立百年を迎える伝統校であり、創立者・坂本貢先生の建学の精神は教員の誇りであると述べ、「大正から

昭和に移るころ、西洋医学を中心とした医療体系が確立され東洋医学の実践をする場がなくなりつつあった。そんななか、坂本貢先生は東洋医学の灯を消してはいけないという情熱を持ち、東洋医学の教育的機関として東洋温灸医学院を立ち上げました」と本校創立の経緯を紹介しました。

また、齊藤校長は、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師に対する近年の国民の期待は多岐にわたることに言及。「ニーズに対応できる知識として技術の追求が大切である」とし、勉学に励むことを促しました。教員養成科の新入生には「全国にある鍼灸学校のほとんどに教員養成科の卒業生がいる。東京医療専門学校教員養成科が牽引しているといっても過言ではない。この業界を引っ張っていくという自覚をもって二年間を過ごしてほしい」と要望しました。

入学式あとは第二部として、東京医療専門学校および呉竹学園の教職員が壇上に整列して新入生にあいさつ。続いて各学年の担任教員、附属施設の東洋医学臨床研究所、呉竹学園臨床教育センター、kuretake ke 塾の担当者を紹介しました。最後に学校事務については事務長の建石泰三氏が、学生支援室については齊藤和子氏が説明を行い、終了しました。



# 第54回東京医療専門学校 呉竹会総会の開催について

依然として新型コロナウイルスによる各方面への影響は大きく、まだまだ先を見通すことが不可能な状況となっています。現在の社会情勢と照らし合わせ検討した結果、今年度につきましても、前年同様に総会の模様をインターネットを通し、ライブ配信を行う方式をとらせていただくことになりましたので告知させていただきます。

本来であれば、以下の議事を総会の場で審議いただき、承認を得なければならないのですが、諸般の事情をご理解いただき呉竹会理事による承認とさせていただきます。

ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 呉竹会総会 次第

会長あいさつ

学校長祝辞

議題1. 2021年度事業報告

2. 2021年度決算報告

3. 2021年度会計監査報告

4. 2022年度事業計画案

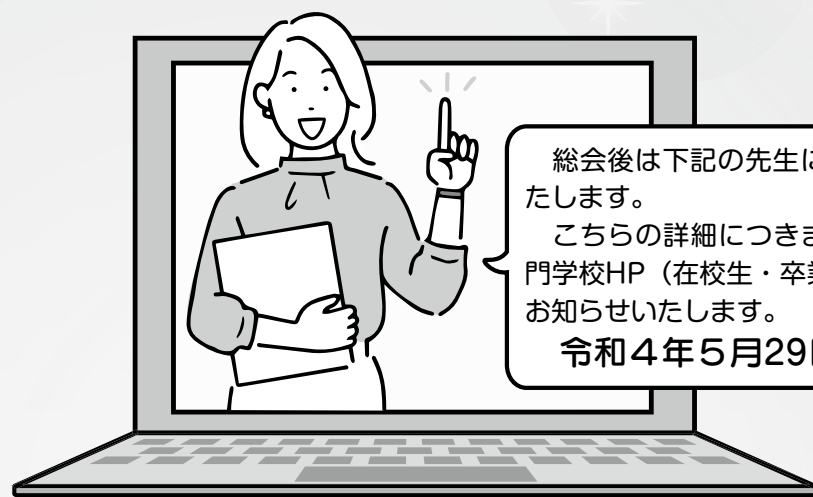
5. 2022年度予算案

閉会

呉竹会総会ライブ配信の詳細は東京医療専門学校HP（在校生・卒業生の方のページ）でお知らせいたします。

よろしくお願いいたします。

令和4年5月29日 14:30～



総会後は下記の先生による講演会を実施いたします。

こちらの詳細につきましても、東京医療専門学校HP（在校生・卒業生の方のページ）でお知らせいたします。

令和4年5月29日 15:00～

## 講演会



### 題名 やればやるほど軽くなる!?その場で効果を実感できる コネクトトレーニング（パフォーマンスアップ）

花前 裕太 先生

近年、スポーツトレーナーを志す学生が増えており、なぜ私が様々なトップアスリートへトレーニング指導ができるかを聞かれる機会が多々あります。

そもそもトップアスリートに行うトレーニングと聞いて、パワーラックを用いたウェイトトレーニングやインナーマッスルを鍛える体幹トレーニングなどを想像する方も多いと思います。

もちろん上記のような内容も必要であり否定や批判はしませんが、トップアスリートは上記のような普通のトレーニングを今更改めて望んでおりません。

なぜなら普通のトレーニングは行って当たり前と認識しているからです。

さすがにトップアスリート自身も理解しています。アスリートは命懸けでスポーツに取り組んでいます。今はSNSなどが普及し、トレーニング動画などは誰でも見れる時代です。アスリート自身も知識を深められる時代に、普通のトレーニングをアスリートに指導しても「ああ、またこれか…」と思われるだけなのでトレーナーとして選手の信頼は掴めません。

私が今まで担当してきたアスリート達は、基本的にチームに専属トレーナーが在籍しております。それなのにアスリートがわざわざ私のトレーニングを受けにくるのには理由があります。理由は単純で、私の提供するトレーニングをトップアスリートでさえも受けたことがなく、更にもその場で効果を実感できる少し特殊な

トレーニングだからです。

今回はその少し特殊なトレーニングを皆様に時間が許す限りですがお伝えできたらと思っております。

もちろんこのトレーニングは私が経営する整骨院でも一般の患者様にも提供し、痛みやお悩みを改善しております。トップアスリート専門という訳ではありませんのでご安心ください。

#### 〈プロフィール〉

1991年1月29日生まれ（31歳）

呉竹医療専門学校 柔道整復科・鍼灸科卒

在学中からフィットネスジムでパーソナルトレーナーとして活動し、卒業と同時に亀田三兄弟の専属トレーナーとして契約し渡米契約満了後は埼玉県のある整骨院グループで勤務しながら母校大宮東高校野球部のフィジカルトレーナーに就任

2018年からはサッカー元日本代表 岡崎慎司選手の専属トレーナーとして英・西に帯同。岡崎選手の考えに賛同し、トレーナー契約を継続したまま2020年に兵庫県神戸市に「新長田はなまえ整骨院」を開業

開業後は、なでしこジャパン・INAC神戸 中島依美選手をはじめとする関西で活躍するJリーガー、WEリーガー、Bリーガーやプロゴルファーなど様々なトップアスリートのコンディショニングをサポート

## 支部活動報告

### 静岡支部 PCR検査への疑問、インフル患者激減の謎

PCR検査は現在コロナウイルスに感染したかどうか、感染して陽性なのかどうかの判定に使用されております。PCRとは正式には「ポリメラーゼ連鎖反応」といい、生物の遺伝情報をもつDNAを複製して増幅させる方法のことを言います。ごく微量な検体（血液、細胞、ウイルスなど）であっても特定のDNA配列だけを短時間に増やすことで目的のDNA配列があるかないかを知ることができます。

新型コロナウイルスはRNAウイルスなのでRNAからDNAを合成したのちにPCR検査を行います。検体は鼻腔ぬぐい液、唾液、喀痰を使用します。

理論的にはとても素晴らしい検査法なのですが、問題はその精度なのです。

PCR検査キットの説明書には、『インフルエンザウイルス、RSウイルス、アデノウイルス、マイコプラズマ、クラミジアニューモニエ等と誤認判定することがあります。』と書かれております。PCR検査の開発者であるキャリーマリス本人が「PCR検査はウイルス判定に適さない」と発言しております。

本年2月中旬のインフルエンザ患者数は、通常であれば1週間で8万人を超えているはずなのに、1週間で100人以下でした。コロナがはやるとインフルエンザが激減するのでしょうか。何かおかしいです。PCR検査によってインフルエンザ感染者がコロナ（オミクロン）感染者と判定されている可能性も否定できません。

政府は4回目の接種を見据えたワクチン

の購入のため6670億円を支出することを閣議で決定しています。4回目のワクチン接種というワクチン頼みの感染対策には限界があります。

前々回にも記述させていただきましたが、人間には病を事前に防ぐ「免疫」があり、この免疫の作用を弱らせないことこそ予防医学のキモとなります。東洋医学には未病を治すという概念があり、病が本格化する前に前駆症状を取り去ることにより、病を防ぐもので、免疫の強化にも繋がると思われます。免疫に関しましてはとても奥が深いものでありますが、各自が実践できることから始めることが肝要と考えます。充分な睡眠と栄養で健康生活を送り、最大防御機構である免疫を弱らせるストレスを上手にコントロールし新型コロナウイルス（オミクロン等）に打ち勝ってまいりましょう。

呉竹会静岡県支部におきましては「未病を治す」と「免疫」をわかりやすく解説するセミナーを通して、病気になるにくい身体をつくる予防医学の精神を学び、東洋医学系の鍼師、灸師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師の利点をアピールし、この職業に興味のある方々に学校進学のお勧めをしております。皆様方のご参加をお待ちしております。

【連絡先】増川 裕一  
静岡県田方郡函南町間宮8-6 和光堂  
電話 055-928-9751

(事務局 増川 裕一)

### 東京支部

東京支部ではコロナ禍でできる勉強会を検討しており、少人数の勉強会を開催したいと思っております。

日時など詳細については未定です。詳細

は呉竹会東京支部のFacebookにてご案内予定です。呉竹会東京支部で検索していただけますようお願い申し上げます。

(堀口三恵子)

※活動を実施できなかった支部につきましては、未掲載としております。



### 栃木支部

新型コロナウイルスによる影響は2年を経過してなお、終わりが見えません。

皆様も多大な影響をお受けになっていることと思われませんが、もうしばらくの辛抱と信じて頑張りましょう。

還暦を過ぎた私ですが、昨年よりとちぎ呉竹研究会を代表することとなりました。これまでの歴代会長の皆様が誇る実績を見るに、浅薄の私がどこまで務まるかは甚だ心もとありませんが、「柔道整復師、鍼灸師、あんま・マッサージ師」と多様な職種を育成できる呉竹学園の威光をお借りして、次世代へ志を繋いでいきたいと思っています。

さて、同業の柔道整復師の皆様には眉を顰めるような苦言を取らせて。

あらかじめ申し添えますと、私は「ほねつぎ」が大好きです。骨折や脱臼などに対する「非観血療法」の技術を途絶えさせてはならないとも思います。しかしながら昨年1年間に当院で修復した「骨折・脱臼」の患者数は1桁をやっと超える程度でした。それも「指・趾骨」が大半でした。どこが「ほねつぎ」なのでしょうかね？もちろん社会環境の変化が主因ですが、患者さん側の話を聞けば「とりあえずレントゲン」とのこと。先年より学校カリキュラムに超音波観察装置の取り扱いが含まれましたが、この普及と社会認知を強く進めていただきたいとの思いが一つ。

免許を取得して修行が始まったころ、毎日2桁の骨折患者を施術していたあの頃

は、たくさんの症例を勉強させていただき、その後の独立に際しての自信に繋がりましたが、現在の若い柔道整復師の皆さんはどのような環境で研修を受けていらっしゃるのか…。

患者激減の背景にあるもう一つの原因は私たちの「コンプライアンス欠如」でしょう。

真剣に施術をしている先生方にはたいへん申し訳ないことにはなりますが、安直に健康保険を悪用した慰安施術の横行が自らの首を絞め続けています。

確かに「儲かるよね！」「患者さん来るよね！」。職業ですから糊口を繋げなければなりませんし、家族を飢えさせることもできませんが、あまりにも無節操な荒稼ぎの結果が現状でしょう。パターンは大きく二つ。一つは意図的に「正しくない請求」を行っているもの、もう一つは知らずに「正しくない請求」となっているもの。

療養費支給基準の存在すら知らず、正しいかどうかの認識もない方がなんと多いことか。

受領委任取り扱いの際に、3年間（令和6年までは2年）の実務研修期間が義務付けられましたが、研修時に指導する側が「正しい請求」を知らないのでは何を指導するのか心配です。私も含めて業界全体が此の事を厳粛に受け止め、早急に是正していかなければと思います。皆様のお考えはいかが？

(塚原 剛)

### 埼玉支部

東京医療専門学校在校生の方々、また卒業生におかれましては、柔整師、はり、灸、あん摩業に精根を込めて、働いておられると思います。本年は新型コロナ旋風により、授業の多くがオンラインとなったと聞いています。学校当局も教員の立場からすれば、多くの合格者を出すために努力をされたと思います。私共も各種講習会を予定していたものの、公的会場が感染予防の観点から使用不可となり、講習会を行うことができず、また実際に開業されている諸先生方のご指導を直接仰ぐこともできませんでし

た。本年の国試について、結果は全国的に良くなかったと聞いています。一度の失敗にめげずにあきらめずに、一度覚悟を決めた自分自身に捲土重来を言い聞かせて奮起していただきたいと思います。今回思うような結果が得られなかった方は、来期は合格を目指して頑張ってくださいと思います。人生は長い道のりです。皆様のご成功をお祈り致します。

(大久保秀夫)

## 四谷図書室からお礼とお知らせ

昨年度も治療院を閉院されたり転居されたりする先生方から多くの書籍や雑誌を寄贈していただきました。

雑誌『中医臨床』につきましては、第1号から全てがそろい、製本して図書室に配置することができました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

今後も東洋医学に関連する雑誌・機関誌や図書の収集を続けていきたいと考えておりますので、ご協力お願いいたします。



昨年度も一昨年に引き続きコロナ感染予防のため図書室の利用については日時を限った学生への貸出しのみ行いました。今年度もしばらくこの状態が継続します。卒業生の皆様から利用したいとの問い合わせを受けておりますが、しばらく図書室の利用時間が定まらなくご不便をおかけしております。

学園ホームページにて開室日時をお知らせいたしますので、是非ご利用ください。今後の状況により変化していくと思いますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。学会発表のため資料を閲覧したいなどの場合は、ご相談ください。

(図書係)

# 上海中医薬大学 オンライン中医セミナー開催

東京医療専門学校 事務 由井 孝枝

三十年以上続く本学園の提携校である上海中医薬大学国際教育学院と、初のオンライン中医

セミナーを四日間（二〇二二年八月二日～八月五日）にわたり開催いたしました。

毎年夏休みに呉竹学園三校（東京医療専門学校・呉竹鍼灸学校・柔整専門学校）で中医学を学び、短期留学というかたちで上海へ訪問しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、学ぶ機会を継続しようと上海中医薬大学と呉竹学園とで講座や時間を

選択できるセミナーを企画いたしました。総勢百五十九名という想像をはるかに超えた鍼灸科・鍼灸マッサージ科・教員養成科の在校生よりお申し込みをいただき、中でも一番人気の中医診断学（舌診・弁証）の講座は、百三十名の学生さんが同時に聴講し、講義をしてくださっている組（ソ）先生へオンラインにて直接質問していました。この他の講座としては、上海現地の病院施設の紹介や鍼灸科、推拿科（中国式カイロマッサージ）のライブ中継、中国鍼灸治療の現状・スポーツ障害に対する針灸治療、中国伝統医学の現状・中医基礎理論など、これまで短期留学の講義では無かった授業内容も含まれ、セミナー終了後のアンケート調査において、高評価をいただきました。まだまだ安心して渡航できる状況ではありませんが、これからも上海中医薬大学と協力をし、学生さんの知的好奇心の場を提供できたらと考えております。



## 学校法人呉竹学園 創立100周年記念事業募金

学校法人呉竹学園創立100周年記念事業募金も皆様のご協力をおもちして多くの卒業生の方より賛同を得ることができました。この場をおもちして厚く御礼を申し上げます。

呉竹会会員の皆様方には更なるご理解とご協力を賜ればと思ひ、今年度の春号に振込用紙をお送りしております。

「100周年記念事業募金」に関するお問い合わせがございましたら、下記の「法人事務局 寄付金募集係」までお問い合わせください。

呉竹会会員の皆様方のご理解・ご協力を賜れますよう重ねてお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】 学校法人呉竹学園 法人事務局 寄付金募集係  
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-9-5  
TEL：03-5362-3776



## 第30回国家試験合格 おめでとうございます!!

	本校合格率 (新卒)	全国合格率 (新卒)	全国合格率 (全体)
あん摩マッサージ指圧師	98.3%	97.4%	84.7%
はり師	91.5%	90.4%	74.2%
きゅう師	90.4%	91.4%	76.1%
柔道整復師	75.5%	81.0%	62.9%

### 今年度も維持会費の募集は秋号で行います

#### 維持会費とは

呉竹会では、会報発行や、各種呉竹会行事の運営など、様々な活動をご支援いただくため、毎年春号にて維持会費の募集を行っていますが、今年度は10月の秋号で維持会費の募集を行います。

維持会費は主に、学校と卒業生を結ぶ「くれたけだより」の発行に大きな役割を果たすと共に、現役在校生が10月に開催する「呉竹祭」を支える役割も果たしております。

これからの東京医療専門学校・呉竹会発展のために、ご協力をお願いしています。

「くれたけだより」秋号で振込用紙をお送りします。  
詳細につきましては、秋号をご覧ください。

住所変更等があった場合は、同封しました、「変更届」のハガキをご利用ください。

発行所 東京医療 呉竹会  
専門学校

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12 東京医療専門学校内  
電話 03-3341-4043 FAX 03-3358-3976  
ホームページ <https://www.kuretake.ac.jp/>